

GA330

表象文化演習－コミュニケーションとアート－

稲垣 立男

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この演習のテーマは「コミュニケーションとアート」です。

「背景の異なる人々の生活や文化を理解し、様々な方法で相互の考えを伝えること。」

コンテンツラリーアートを中心に様々な芸術活動（音楽、パフォーマンスアート、映像等）を通じて、特にコミュニケーションに関する研究を実践的に行います。研究活動を通じて様々な人々とのコラボレーションを経験することになるでしょう。

演習の担当者は国際的に活動しているアーティストであり、学生のみなさんはアートプロジェクトやワークショップなどの制作を直接体験することと、背景となる理論についての研究を並行して進めていきます。

春学期はビデオアート・映像インスタレーション及びプロジェクト型アートワークのプレゼンテーションに関するワークショップを行います。秋学期は国際文化情報学会での発表及びゼミ展示に向けての計画を進めます。

【到達目標】

アートの実践を通じて

1. 既存概念に囚われずに自由に発想すること
2. 様々な方法で他者に伝えること
3. ものごとの本質を見極めること

これらについて掘り下げて考え、その能力を身につけることが大きな目標です。

このような能力は、周囲の情報に流されがちな現代社会において自らの方向を定め、みなさんの日々の生活を豊かにすることになるでしょう。

【授業の進め方と方法】

○ 共同研究

春学期・・・アートプロジェクトやワークショップを中心とした活動です。

秋学期・・・グループ研究のまとめとして国際文化情報学会に参加します。

今年度は、下記のプロジェクトと関わる予定です。

・高郷プロジェクト（福島県喜多方市）

他に機会があれば国内、海外のアートプロジェクトやワークショップの研修、展覧会の鑑賞なども積極的に行います。

・ドイサケット・プロジェクト（チェンマイ・タイ）

※今年度は学生から希望があった場合のみ実施します。

○ 個人研究

個人研究については、個別に相談をしながら進めていきます。春学期と秋学期の最後に研究発表会（展覧会）を行います。研究方法については以下の2つから選んでください。

1. 作品制作+ポートフォリオ
2. 論文+ポスター制作

○ ぜんまい

毎回1名の方が順番に、それぞれの選んだテーマで10分程度の短いプレゼンテーションをしています。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	今年度の運営方法・活動スケジュールについて
第2回	個人研究1	個人研究について 研究計画書の作成
第3回	ワークショップ演習1	ブレインストーミング ビデオアート/映像イ ンスタレーション

第4回	ワークショップ演習2	フィールドワーク ビデオアート/映像イ ンスタレーション	（展覧会見学）
第5回	ワークショップ演習3	企画・プランニング ビデオアート/映像イ ンスタレーション	
第6回	ワークショップ演習4	制作・準備 ビデオアート/映像イ ンスタレーション	
第7回	ワークショップ演習5	鑑賞・講評 ビデオアート/映像イ ンスタレーション	
第8回	個人研究2	プレゼンテーション	（口頭発表）
第9回	個人研究3	プレゼンテーション	（口頭発表）
第10回	アートプロジェクト演習1	アートプロジェクトとは レクチャーと実験	
第11回	アートプロジェクト演習2	フィールドワーク	（展覧会見学）
第12回	アートプロジェクト演習3	計画	
第13回	アートプロジェクト演習4	制作・準備	
第14回	アートプロジェクト演習5	制作・準備	
第15回	ポスター発表 個人研究の発表	ポスター+作品展示 展覧会形式による研究発表 及び講評会	

秋学期

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	秋学期活動についての説明 夏季課題提出
第2回	個人研究4	プレゼンテーション（ポスター発表）
第3回	共同研究-アイデア1	国際文化情報学会とは 研究発表の方法について
第4回	共同研究-アイデア2	ディスカッション フィールドワーク 資料収集
第5回	共同研究-アイデア3	企画案づくり
第6回	共同研究-中間発表	グループによる発表
第7回	共同研究-制作1	プレゼンテーションの手法の検討
第8回	共同研究-制作2	材料などの検討と準備
第9回	共同研究-制作3	作品制作と展示設営の準備
第10回	共同研究-制作4	作品制作と展示設営の準備
第11回	共同研究-作品発表	鑑賞と講評会
第12回	個人研究5	プレゼンテーション（口頭発表） 展示デザインの検討
第13回	個人研究6	展示設営の準備
第14回	個人研究7	展示会場の設営
第15回	個人研究-作品発表	鑑賞と講評会

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1. 経験などは問いませんが、年間を通じて意欲的に取り組んでください。
2. 個人研究については自力で進めていくことになります。質問・疑問点については教員によく相談してください。
3. 展覧会・コンサート・映画館などで作品鑑賞する機会を持ち、また他のアートやデザインの授業も受講するようにしてください。

【テキスト（教科書）】

1. Schneider, Arnd Wright, Christopher *Between Art and Anthropology: Contemporary Ethnographic Practice* Berg Publishers 2010年
2. 北澤憲昭、杉田敦 芸術表象コンセプトブック アート・プラットフォーム 美学出版 2010年

【参考書】

以下のような研究に関する実践例（プロジェクトや展覧会）および参考文献を各自で参照しておくこと。

1. 福祉施設、博物館、広場や公園など公的空間における環境計画
2. 病院や学校など、公的な場所でおこなうワークショップなどの研究

管理 ID:
1705231
授業コード:
C1106

3. 地域コミュニティのポータルサイトや映像作品、冊子などの企画制作

4. 地域活性化のためのイベントやプロジェクトなどの計画案

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50%)

個人研究 (50%)

【学生の意見等からの気づき】

チームワークが大切な研究活動となります。日頃からよくコミュニケーションを取るようにしましょう。

【学生が準備すべき機器他】

作品制作やプレゼンテーションで PC を活用する機会も多いと思いますので、関連した実習授業を履修しておくといでしょう。ブログや、LINE、facebook などの SNS も積極的に活用します。

また、課題提出に授業支援システムを使います。

【その他の重要事項】

活動記録（ブログ）がありますので、履修したい方は見ておいてください。

<http://inagaki-seminar.blogspot.com/>

教員のウェブサイト

<http://www.tatsuoinagaki.com>